



◀ 会議録はこちらから

一般質問



井端 浩二 議員

出産祝い金、子育て支援について

①飛騨市独自の出産祝い金を第1子から出せないか。

②児童手当も中学校までなので、高校生への支援を出来ないか。

答 弁 ①合併当時から子育て支援金や入学準備金の見直しを行いながら現在に至っている。国や県においてもいくつかの応援交付金事業が予定されている中で、市が独自の出生祝い金を出したとしても出生数が上がるとは考えられず、まずは国や県の施策を見て明らかに出生率が上がるようであれば支援を検討したい。

②国においても児童手当の18歳までの引き上げを検討しているようで、このような中で市の追加支援策を打ち出すことは予算面からも厳しいと考える。親の意見も確認しながら、国、県の支援

が行き届かない所の支援を考えていきたい。

スポーツ少年団支援と公共施設予約について

①古小、西小グラウンドの照明設備の改善や備品の整備は出来ないか。

②公共施設予約についてのシステム等に問題点はないか。その対処はどうしていくのか。

③施設管理者側と各種団体等の話し合いの場を設けることは出来ないのか。

答 弁 ①グラウンドの照明の設置については、学校や他団体等の意見を確認しながら考えていきたい。備品等については学校の備品ではなく、今後買い替える予定はない。

②システムの不具合や、管理者の操作認識不足によるトラブルがあった。しっかり対処していく。

③利用者の不都合なことがあれば話し合いの場を設けることは可能である。



YouTube ▶



野村 勝憲 議員

私は2月に子育て・ふるさと納税・行財政改革・観光振興で関西や東海12の自治体訪問

なんでこんな時、市長や職員と議員だけ12人で台湾旅行だ！の声に対し

市長や議長含む5,000人コロナ感染！修学旅行にも行けない子供の事考えたか等怒り①参加者は②費用は③事前説明は④何故3月台北の富山・長野・岐阜観光展に合わせなかった？

答 弁 ①都竹市長・部課長等職員と議員は澤・葛谷・住田・谷口・上ヶ吹②9万円のおみやげ代含む151万円③無回答④知らなかった。

銀杏と桜・寺と城・食と自然を生かす観光

NHK「さくら」大銀杏での出会いは印象的①提案済の祭広場から道の駅アルプ迄のウォーキングコースは②祭会館で「おかえりさくら」上映を③地域資源を生かす誘客は **答 弁** ①まち中クアオルトとして検討中②NHKに交渉③広域観光へ

子育てしやすい環境づくり

①37匹の猫に年5,000万円のふるさと納税を使うなら、年3,600万円予算で国の児童手当が無い高校生600人に1人年6万円支給すべき②坂巻公園の遊具は杉崎と同じ0～2歳・保育園・小学生等年齢別に **答 弁** ①市の支援策は考えていない②更新時に年齢別設置

身を切る議会改革と行財政改革は

岡山県奈義町は身を切る改革で議員定数3割・職員2.5割減で年1.6億円削減し、その金を子育てに使い出生率全国トップで1割の人口減。一方飛騨市は人口が3割減なのに職員と組織は増え、都竹兄弟や葛谷親子の税金生活等で聞かない役人天国。議員定数委員会での大嘘発言や市民の声や弱者を顧みない議員がいる限り議会改革できない。身を切る行財政改革と持続可能な市役所は

答 弁 社会環境の変化で職員数と組織が増大。今後職員数等削減せず、身の丈を超えた事業は行わない。



YouTube ▶



上ヶ吹 豊孝 議員

部活動の地域移行について

従来の部活動では主に教員が指導を行うが、地域移行では外部の部活動指導員が行なう部活動移行の目的として I 部活動を担当する教員の負担を減らし、授業へ注力しやすい環境を作る。II 部員が減少中の部活動では複数の中学校が集まることで人員確保ができる。①保護者の費用負担について②部活動指導者や確保について③部活動地域移行の教育的指導について④部活動の地域移行でみてきたことは。

答 弁 ①保護者の費用負担の増加が懸念されるが、保護者の負担軽減は最重要課題と認識している。②岐阜県において、「地域部活動指導者育成研修事業」を利用して指導員を育成している③学校と地域クラブ活動指導者と連携を図り、体制を整える。④移動時間がかかること、冬季は早く日が

暮れるため、部活動が十分でない。

山林を守り災害に強い地盤作り

昨年末、山形県で発生したがけ崩れは土砂災害警戒区域であった。飛騨市においてもレッドゾーンやイエローゾーン以外でも整備されない山林で山崩れが発生しないか心配である。

①新規土砂災害地域の調査について②元気な山林にするには③間伐材を備蓄木として利用は。

答 弁 ①区長会や農業改良組合等において点検等実施し報告を頂く、また耕作放棄地において関係する箇所の点検は必要である。②令和3年度から森林環境譲与税を活用し未整備森林の整備を始めた。③燃料としての木材備蓄について検討したが、市には運用上の課題も多く、活用は困難である。人工林の間伐材活用や広葉樹など未利用資源の有効活用は大切な課題である、引き続き研究を進める。

YouTube ▶



籠山 恵美子 議員

物価・燃料高騰の対策の拡充を

①市の福祉施策は対象条件が「住民税非課税」が基本形となっている。しかし困窮しているのはこの階層だけでなく、大勢の市民が苦しんでいる。対象条件を緩和し、多くの市民生活を支えるべき。

②物価高騰対策でたいへん好評な「ゆったりフリーパス」の無料入浴券だが、今年度で終了となる。ぜひ継続を

答 弁 ①「住民税非課税」という一律基準では不公平感があることは承知している。給付対象者の拡大はさらに研究する必要がある。②この取り組みが負担軽減に役立ったかの調査をしつつ、現状を見極めて判断していく。

学校給食無償化を今こそ決断すべき

これで3度目の質問である。少子化と子育てで最も求められるのが「教育の負担軽減」。また憲法26条で「義務教育は無償」としており、権利なのだ。市長の裁量で無償化を実現すべき。

答 弁 圧倒的に大学・専門学校以上で教育の負担感が大きいので、市は支援すべき対象者を見定めることに注力している。

水道事業の抜本的な見直しについて

昨年に続き再度、水道事業の見直しが提案されているが、経営の原資を市民の水道料金に頼るのでは八方ふさがりだ。地方公営企業法に沿って適正に繰り入れをし、水道料金のむやみな引き上げをしないよう求める。

答 弁 人口減少・高齢化による経営状況の悪化全国的な課題。繰り出し制度や交付税措置の拡充を引き続き強く国に要望していく。

(その他、平和教育について質問)

YouTube ▶





◀ 会議録はこちらから

一般質問



谷口 敬信 議員

基盤整備事業について

①岐阜県の事業計画(古川町谷地内の一級河川宮川護岸改修工事)について ②飛騨市の基盤整備部事業計画について ③各振興事務所所管の小規模工事の予算(令和4年度1億5千万円)増額について

答 弁 ①事業計画については令和2年度に採択され、概ね10年間と伺っており、市といたしましても早期完成に向け、用地交渉に同行するなど全面的に協力している。②繰越工事は発注済の7件を含めて全体で19件を予定している。全体予算9億円のうち主要工事は約50件を予定しており、上半期には約40件、8割の早期発注に努める。③市所管の要望件数が671件うち年度内実施済が320件(約48%)で緊急性及び小規模でも効果の高いものなどを優先し速やかに実施していく考えである。

観光名所「御所桜」周辺施設／整備について

①JR東海グループ飛騨市「ヒダスケ」が連載した高山本線無人駅「杉崎駅」周辺の施設の整備について ②「桜鏡」のライアップと水田の水張に伴う費用の助成金について

答 弁 ①御所桜シーズンにおけるトイレの設置や用水路の安全対策については、JR東海に要望している。今後は杉崎区及び加茂川発展会の皆様のニーズもお聞きしながら、ヒダスケの活用も含め、御所桜や小島城、杉崎公園などを含めた周遊コースの検討などを進めてまいりたい。②助成金につきましては令和5年度からは新たに「まちの元気応援事業」とし、補助率1/2上限10万円で、地域の元気に繋がる新たな事業を支援する。また、まちづくり拠点「node」においては、地域の提案に対して、企画運営や補助金活用のアドバイスも併せて実施している。

YouTube ▶



住田 清美 議員

外国人就労者と多文化共生について

①人材不足と外国人就労者への期待②外国人就労者の生活環境について③多文化共生の推進

答 弁 ①優秀な外国人材に活躍してもらうことで、企業の成長も促進され人手不足の解決策ともなる。②ベトナム人とインドネシア人各1名ずつを外国人実習生等業務支援員に任命し、言葉や仕事、生活の困りごとのサポートをお願いしている。③・支援体制の整備…市役所に簡易AI通訳機の導入や飛騨市多文化共生支援員の認定を行う
・外国人住民の生活支援…外国人の語学支援のため日本語教室を開催
・市民への理解促進…地域住民と外国人住民との交流会を開催

多機能型障がい者支援センター古川いこいの開設について

①古川いこいの運営について②障がい者グループホームの運営③ショートステイ利用④ふらっと+ (プラス) の機能について

答 弁 ①地域生活支援拠点整備について、1カ所に支援機能を集約する「多機能拠点型」とし、市が司令塔立場で関係支援機関の連携の要となり、体制確立に取り組んでいく。②当初は入居定員の半分である男性3名、女性3名を6月から募集開始とする。重度の方についても受け入れる意向である。③神岡のピースでも整備しているが、現在利用実績はない。古川いこいでもショートステイ2床整備している。④ふらっと+を設置することで予防的視点の動きを強化し、この施設を活動拠点として、市の巡回訪問員を増員し、アウトリーチを中心とした取り組みを強化していく。

YouTube ▶





前川 文博 議員

アフターコロナに向けて？

①まちなか簡易検査センターにかかった費用の総額は。

②検査キットの在庫と活用について。

答 弁 ①検査キット14,550個の購入費1,268万円。人件費2,394万円など。支出済総額5,527万円。②2,867個の在庫がある。春の例祭関係等に提供しても、現在の在庫で対応可能。追加購入の予定はない。薬局で大量に在庫が発生した場合、対応を検討する。

多機能型障がい者支援センターについて

①2年間の稼働状況と支払った指定管理料は。

②令和6年以降の指定管理について。

③このままでは令和5年度も短期入所（ショートステイ：宿泊）の受入れは0（ゼロ）人。お試し利用など始めるべきではないか。

答 弁 ①生活介護は約5割、就労継続支援B型と日中一時支援は約3割、短期入所は利用の申出がなく0（ゼロ）。令和3年度は270万円の赤字で指定管理料200万円の支払、令和4年度も上限200万円を支払予定。②指定管理者による運営努力や適切な運営状況を確認していく。③受入れのネックになっている問題を確認し対応する。

社会福祉連携推進法人の設立について？

①連携推進法人の役割は。

②参画できる社会福祉法人の範囲は。

③市からの職員派遣終了後はどうなる。

答 弁 ①人材確保面では両法人合同での一括した求人採用活動等。②社会福祉法人以外にも社会福祉を目的とする福祉サービス事業を運営する法人や、社会福祉事業等従事者を養成する機関も参画が可能。③運営交付金で経費負担の軽減を図りながら、安定的な運営を目指す。

YouTube ▶



高原 邦子 議員

市民サービス等はできるだけ公平公正に図っていく必要があるのでは…

自治法上、ゴミや一般廃棄物は市の独自の役割である。神岡では終活や断捨離で峠を越えて古川のクリーンセンター等に持ち込みするが、高齢者だけでなく、共働きの夫婦も皆が不便に感じている。①神岡は民設民営であるがため料金が高くなるが同一になるようにはできないのか②近隣の自治体との料金の比較はどのようであるか③市民すべてが当事者であるゴミ廃棄物問題をどのように考えているのか。

答 弁 ①民設民営では必然と料金に差が出る。粗大ごみ処理には高齢者世帯には助成している。②近隣の市村の費用負担は高いものもあれば、低いものもある。③市内市民等しく同条件でサービスを提供できるのは理想である。過疎化・高齢化

が進むと様々な課題が起こってくる。人手不足の中で集約されてくるであろう。その中で少しでも不便さや不公平感がある方々に共感を持って、それを解消するように努力する。

市民が安心安全に暮らし守るために昨今の窃盗・強盗事案に対しての考え方は

新聞テレビで連日報道された複数人による強盗殺人事件は他人事ではなく、市民の間でも話に上る問題である。所管は警察であるが市として防犯に力を入れるべきである。警察との連携、防犯グッズの研究、コロナで失われた近所・地域のつながりの復活など、いろいろあるがどのように考えているのか。

答 弁 防犯カメラの設置に助成をしている。声掛け運動や防犯教育、啓発宣伝等、自主的な地域安全活動への取り組み推奨を続けている。防犯協会、自治会、各種団体と連携を更にしていく。

YouTube ▶





◀ 会議録はこちらから

一般質問



徳島 純次 議員

小中学校の不登校について

①不登校が昨年度より継続している割合とどの様に評価し、課題は何か。

②不登校の要因と要因を分析し、今後の対策にどの様に繋げるか。

③不登校児童生徒への居場所の一つとして、なかよしキッズを検討したらどうか。

答 弁 ①不登校が前年度から継続している割合は、小学校50%、中学校60%程である。一歩ずつ進む子供たちを支え、励まし動き出す力を蓄えること、人や社会との関係を繋ぎ続けることの支援を心がけている。

②全国と同様に「無気力、不安」が不登校の大きな要因となっている。対策としては、誰もが持っている弱い自分や苦しい心をさらけ出せる、心理的な安全性を確保する。

③なかよしキッズの利用は、学習の場として選択肢が増えて大変喜ばしい事と考える。3月から既に利用が始まっている。今後はスタディーサポーターの訪問も加えながらさらにどのように展開したら良いか考えていく。

いじめについて

いじめの3年間の推移と要因および今後どのような支援をし、指導を行うか。

答 弁 令和2年度218件、翌年189件、令和4年度は2月までで108件と減少している。減少に安心せず、いじめのあらゆる可能性を考えて対応する事を学校で共有している。



YouTube ▶



水上 雅廣 議員

少子化と子育てについて

①若い女性の流出をどう抑えるか。②子供への温浴施設フリーパス券は交付できないか。

答 弁 ①若い女性が働きたいと思うクリエイティブな職場の存在、男女の性別役割分業に対する意識改革を進める。市の事業をアウトソーシングすることで企業を創出、女性の働く場を創出したい。②子どもたちが自ら様々な活動に使えて、活動範囲を広げるとともに、家族の支援につなげるために、「子ども版いきいき券」のようなものを導入できないか検討し始めている。

宮川保育園の整備について

小学校との併設による保・小の運営と効果は。

答 弁 効果として、遊びを通じた学びから、学習が中心になる環境変化がスムーズに行われるこ

と、園児と児童が交わることで、規律ある態度や人と関わる力が養われること、学校体験や交流が盛んになることで、情操教育につながることで、入学に際して子どもの様子を容易に繋ぐことができるなどが期待される。小規模な地域である特性を踏まえ、地域と連携・協力をしながら、子どもたちの健やかな成長と自立を育むことができる子育て環境づくりを念頭に準備する。特色のある保育園・小学校となることで、移住される方や、小規模ならではの保育や教育を希望される方のニーズにも対応したいと考えている。

国道360号整備促進について

猪谷交差点の改修計画は今どんな状況か。

答 弁 現時点で富山県側から岐阜県に対し具体的な整備計画の情報は入っていない。今後どのように要望活動を進めていくか、富山市を含めた近隣自治体、各種団体とさらなる連携を図る。



YouTube ▶